

# 4. 吉城園周辺地区

①知事公舎



■ 建築年： 1922 (大正11) 年  
 ■ 構造： 木造平屋建  
 ■ 建築面積： 671.48㎡  
 ■ 1951年(S26)9月 サンフランシスコ講和会議で対日講和条約、日米安全保障条約が調印された。11月19日、行幸中の昭和天皇はその批准書の署名を知事公舎で行われた。この「御認証の間」は概ね当時のまま残されている。

③旧世尊院



■ 建築年： 江戸末期  
 ■ 構造： 木造平屋建  
 ■ 建築面積： 307.46㎡  
 ■ 江戸末期に興福寺の子院として建てられた「旧世尊院客殿」を奈良県が改修、保存したもの。  
 平成元年から一般供用開始。

②国際奈良学セミナーハウス

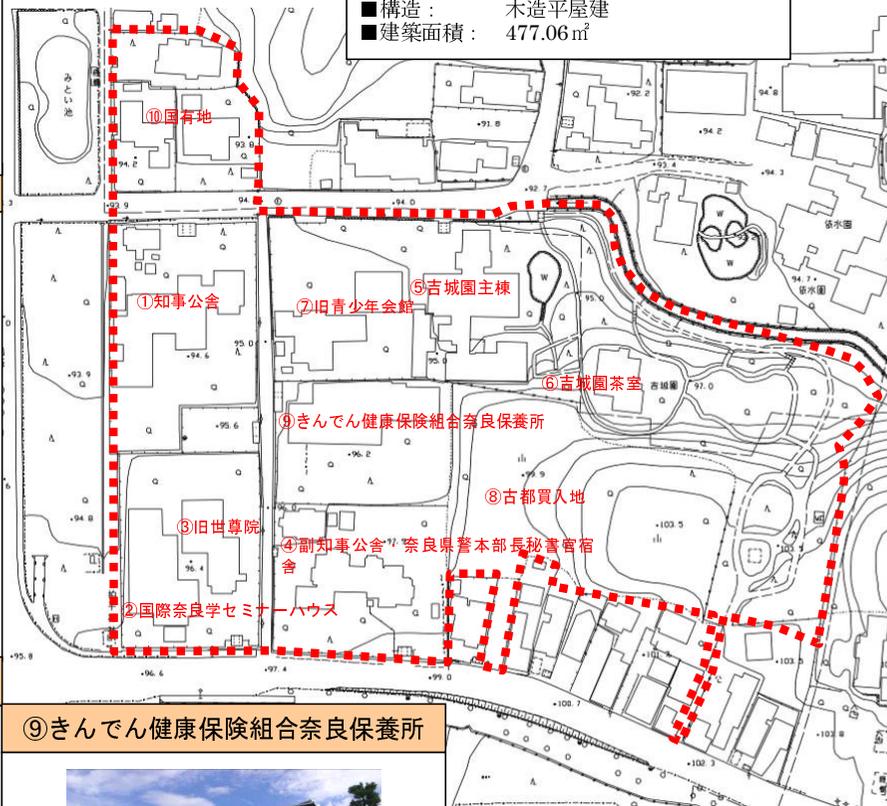


■ 建築年： 1988 (昭和63) 年  
 ■ 構造： 鉄骨造2階建  
 ■ 建築面積： 440.88㎡  
 ■ 興福寺の一院があった場所に立てられた宿泊と学びを提供する施設。  
 平成元年から一般供用開始。

⑩国有地(官舎)



■ 建築年： 1963 (昭和38) 年  
 ■ 構造： 木造平屋建  
 ■ 建築面積： 477.06㎡



⑨きんでん健康保険組合奈良保養所



■ 建築年： 1965 (昭和40) 年  
 ■ 構造： 鉄筋コンクリート造及木造  
 ■ 建築面積： 584.04㎡

④副知事公舎・奈良県警本部長秘書官宿舎



■ 建築年： 1932 (昭和7) 年  
 ■ 構造： 木造瓦葺き2階建  
 ■ 建築面積： 293.25㎡  
 ■ 平成21年3月末まで、副知事公舎として利用。現在は入居なし。  
 奈良県警本部長秘書官宿舎  
 ■ 建築年： 1979 (昭和54) 年  
 ■ 構造： 木造平屋建  
 ■ 建築面積： 81.36㎡

主棟 ⑦旧青少年会館 洋館



■ 建築年： 昭和初期  
 ■ 構造： 木造2階建  
 ■ 建築面積： 483.91㎡  
 ■ 昭和31年3月 奈良県が建物を買収(奈良県青少年会館として使用)  
 ■ 昭和32年2月 奈良県が土地を買収  
 ■ 昭和47年9月 用途廃止



■ 建築年： —  
 ■ 構造： —  
 ■ 建築面積： —

吉城園：⑤主棟・⑥茶室

主棟



■ 建築年： 1919 (大正8) 年  
 ■ 構造： 木造平屋  
 ■ 一部2階建  
 ■ 建築面積： 691.05㎡

■ 「興福寺古地図」によると同寺の子院である摩尼珠院(まにしゅいん)があったところ。  
 大正8年 正法院寛之(僧侶)により建立  
 昭和59年 奈良県が買収  
 平成元年 開園(庭園、茶室のみ一般供用)

茶室



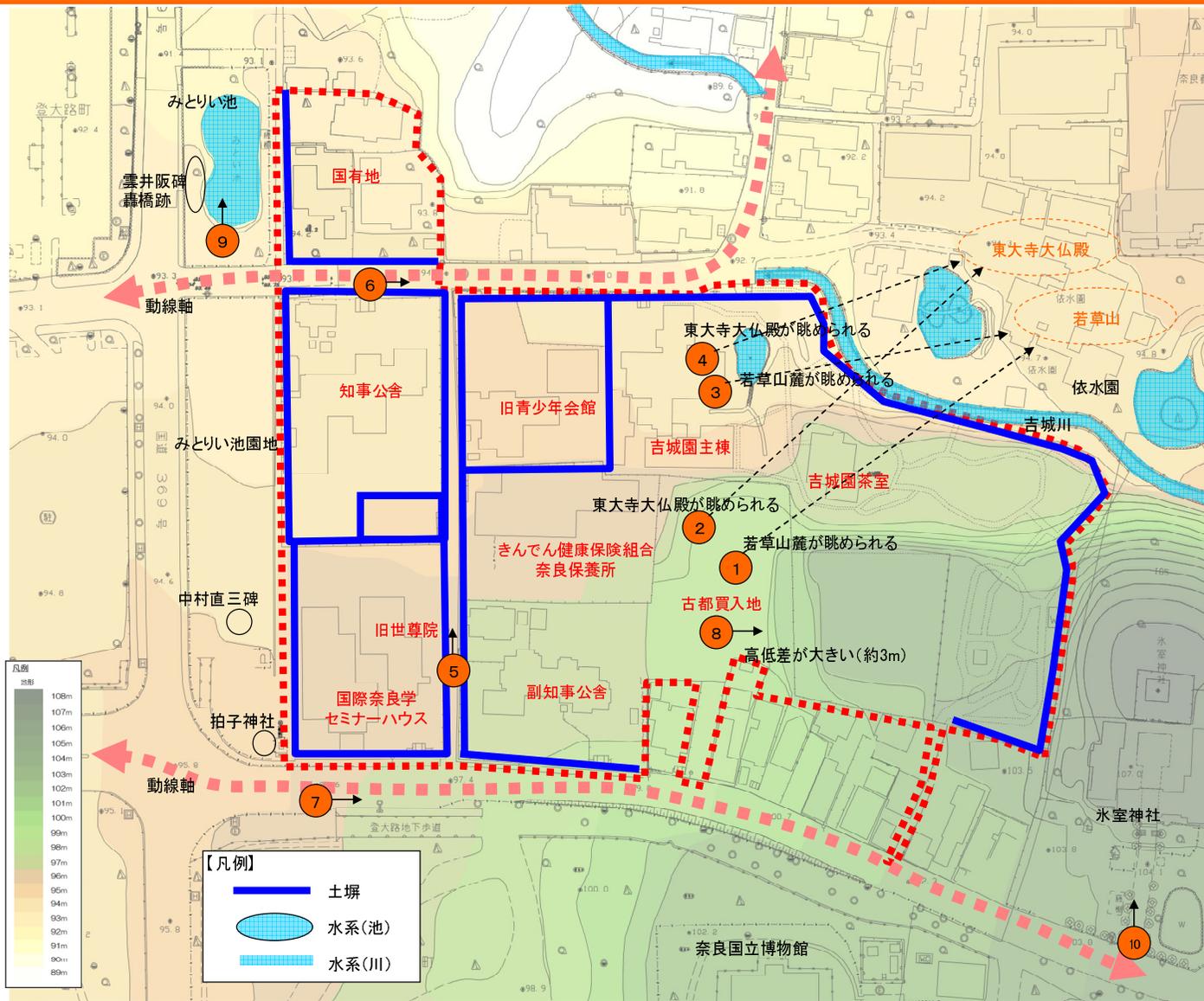
■ 建築年： 1919 (大正8) 年(推定)  
 ■ 構造： 木造平屋建  
 ■ 建築面積： 187.58㎡

⑧古都法買入地



■ 建築年： —  
 ■ 構造： —  
 ■ 建築面積： —

# 4. 吉城園周辺地区



## 計画地(周辺)の特色・特徴

- **地形**  
計画地は南東部と北西部で最大10mの高低差がある。
- **植生**  
計画地の大半は住宅で鹿の進入のないことから、奈良公園の中でも他とは異なる庭的要素の高い中低木類の植栽や、大径化したクスギ・エノキ等の雑木やサクラ・モミジ等の落葉高木樹が存在する空間がある。
- **計画地外観**  
計画地は、道路に沿って築地塀が連続する歴史的景観が形成されており、歴史的な価値や美しさ等の理由から観光スポットとして案内されている。
- **計画地内の景観**  
計画地は起伏に富んでおり、場所毎に景色の変化を楽しむことができる。特に吉城園主棟や古都買入地から東大寺大仏殿や若草山麓を眺められる。

## 計画地(周辺)における奈良公園の魅力構成する要素

- 園地 (吉城園、みとりい池)
- 吉城川、みとりい池、依水園
- 園地の植栽樹木 (松、桜、楓)
- 街路樹 (松)
- 吉城川沿川の樹木
- 雲井阪碑、轟橋遺構
- 東大寺旧境内地遺構 (史跡東大寺旧境内)、氷室神社
- 旧邸宅および屋敷林 (知事公舎、旧世尊院)、築地塀
- 祠 (拍子神社)、碑 (西大門跡、一里塚、中村直三碑等)

